

2023.08.17.木曜礼拝「なぜ神は私を助けられるのか」

エゼキエル 20 章

JD ファラグ牧師

アーメン、アーメン。一緒に祈りませんか？ 天のお父さま、個人的な生活であれ、私たちがニュースやソーシャル・メディアで見ていることであれ、ここで起こっているすべてのことに心が重いです、主よ。ラハイナにいる人々、失われた人々、家族、助けを必要としている人々を励ましたいです。そのことを考えると、どれだけ心が重いことか。主よ、あなたのことを思い、あなたがどれほど良いお方であるかを考えます。主よ、あなたは唯一の希望であり、唯一の平安の源です。だから、主よ、この時を乗り越えるために必要な愛と同じように、そこにいる人々に必要な平安を与えてくださいませんか？ 主よ、彼らを励ましてくださいませんか？ 彼らもまた希望を知ることができるように、イエスの愛を伝えるために誰かを遣わしていただけますか？ 主よ、その希望はあなたです。主よ、御言葉を学ぶこの時間をありがとうございます。主よ、今晚あなたが私たちに与えてくださるものを受け取るために、私たちの心をへりくだらせてください。イエスの御名によって、アーメン。アーメン。

カポノ、ありがとう。良かったよ。こんばんは、ようこそ。どうぞお座りください。今夜お越し下さり嬉しいです。調子はどうですか？ 祝福、祝福、祝福！ よし。オンラインでご参加の皆さんも、歓迎したいと思います。とても嬉しいです。また、マウイ島の状況について連絡をくださった皆さんにとっても感謝しています。日曜日の朝、マウイ島の人々のために現在進行中の救援活動について、最新情報をお伝える予定です。日曜日の朝、マウイ島の人々のために現在進行中の救援活動について、最新情報をお伝える予定です。しかし、それは私たちのソーシャルメディアのプラットフォームでライブ配信を終了した後でなければなりません。しかし、それは私たちのソーシャルメディアのプラットフォームでライブ配信を終了した後でなければなりません。その理由は以下の通りです。政府機関はコンテナを没収し、人々に物資が行き渡るのを妨害しています。しかし、神は、神だけがお出来になる方法で、ご自分の民をこのような時のために配置しておられます。代わりの手段を用いて、私たちが送った物資を人々に届けることに成功していることに主を賛美します。それだけ言うておきます。日曜日の朝は、そのような理由から、聖書預言アップデートの中でだけ、具体的にお話ししたいと思います。というのも、これからお話しすることのいくつかは、やはり限界に挑戦しているようなもので、検閲に敏感なものだからです。あなたは、起きている悪を想像することさえできません。実は、日曜日の聖書預言アップデートは詩篇 37 篇からとなります。この詩篇をよくご存じでしょう。

「悪を行う者、不正を行う者のために思い煩うな。」主はこのところ、詩篇 37 篇から私に語っておられます。詩篇 37 篇は、悪人や不義を働く者たちのことで思い煩うことの無意味さについて述べています。そこで起きていることは想像以上にひどいです。そして、日曜日にお話しするのは...、かなり生々しいですが、マウイ島で実際に起きている悪事に関する数多くの膨大な報告によって、非常に現実的なものとなっています。言えるのはそれだけです。ええ、言えるのはそれだけです。ウェブサイトだけで共有されるものであっても、細心の注意を払わなければなりません。写真はお見せしません。コンテナの写真から番号を割り出し、没収されるからです。それが向こうで起きていることです。エゼキエル 20 章です。このような章は... これは導入としてはひどいやり方ですが、でも、もう一度言わせてください。この章も、読み進めていく中で、ただただ耐え抜いていくしかない章のひとつです。厄介なものです。長く、49 節あります。歯ブラシとパジャマを持ってきたことを願います。 — (笑) — いえ、最善を尽くしまし

よう。この章は長いですが、とても興味深く、実際、私たちのすべての罪や忌まわしい行いにもかかわらず、私達を赦してくださる神の憐れみを力強く描いています。これこそが神がなさろうとしていることです。預言者エゼキエルを通して、彼らのすべての罪、忌まわしい行い、咎、悪事を思い起こさせながら、この歴史の教訓のようなキャンパスにこの絵を描こうとしておられます。これから見るように、神はその憐れみにおいて、なぜ、そしていつであっても、私達を助けることを選ばれるのか、その理由を示してください。それは人が考えるような理由ではありません。始める前に前置きをさせてもらおうと、私たちの聖書にはこのような章があり、他の聖句や章も含めて、かなり手ごわい、厳しい内容があります。それは、私たちがいかに悪いか、あるいは彼らがいかに悪かったかを示すために聖書に書かれているわけではありません。それは、彼らがいかに悪かったか、そして私たちがいかに悪いかにもかかわらず、神がいかに良いお方であることを示すためです。もう一つ、私が言うことに飽き飽きされないことを願いますが、今晚もう一度言うことは非常に重要です。今晚私たちの前にあるような章に適用できるという点で、非常に適切だからです。それは断絶の要因です。言っている意味が分かりますね？ ほぼ毎週この話をしていると思いますが、特にこのような章では、断絶が生じやすいです。ただ荒々しく、生々しいのです。つまり、神は一切手加減をされないということです。その章、その箇所から自分自身を切り離すのはとても簡単なことです。「私はそんなことはしない」と。そこで、断絶してしまいます。私がただお願いしたいのは、…私が教えているのだから、まず第一に私自身を含めますが、この章を読み進めるにあたり、断絶しないようにお願いしたいです。この章が聖書に書かれているのには理由があるからです。繰り返しますが、神が私たちの咎や罪、悪、忌まわしい行為にただ目をつぶってくださることはありません。違います。それは私たちがいかに罪深く、反抗的で不従順であるにもかかわらず、神が憐れみ深いお方であることを示すためなのです。この章ではこのことが明らかになるのですが、そこにたどり着くには、言うなれば、景色の良いルートを通らなければなりません。でも、たどり着きます。では、準備はいいですか？ さあ、始めましょう。1節。

一エゼキエル 20:1一

第七年の第五の月の十日、(日付があります)イスラエルの長老たちの何人かが、主に尋ねるために来て、私の前に座った。

エゼキエルのことです。これは、ヨギ・ベラの有名な言葉にあるように、デジャヴの繰り返しです。14章でも同じことがありました。彼らはまたやっています。戻ってきたんです。

一エゼキエル 20:2一

そのとき、私に次のような主のことばがあった。

一エゼキエル 20:3一

「人の子よ、イスラエルの長老たちにこう告げよ。『神である主はこう言われる。あなたがたが来たのは、わたしに尋ねるためなのか。わたしは生きている。わたしは決してあなたがたの求めに応じない——神である主のことば。』

ワオ！ 最高のスタートを切りましたね。ここで神が言われていることが分かりますか？「あなたは、わたしの預言者エゼキエルを通して、再びわたしに尋ねて来ているが、前回わたしがあなたに言ったことに耳を貸さなかった。それなのに、なぜ今回もわざわざあなたに何か言わなければならないのか？ あなたは聞かない。なのになぜ尋ねるのか？ わたしに尋ねたことを行う気がないのなら、なぜわざわざわたしに尋ねるのか。」では、私たちはこうします。ネタバレです。「わたしはあなたの質問、問いかけに

答えるが、わたしのやり方で、わたしの言葉で答えよう。では、少し歴史を学ぶことで、あなたの質問に答えよう。そうすれば、あなたの質問は解決し、答えも得られるだろう。どうやらあなたはそれを理解していないようだから。」ここでまた、あなたはエゼキエルのもとに戻って来ました。どうやらエゼキエルは家を持っているようです。(イスラエルの)テルアビブではなく、バビロンのテルアビヴにあります。この長老たちはエゼキエルのところに来て、預言者エゼキエルを通して主に尋ねようとしています。主は何と言われるのかを、彼らは知りたがっています。「いいでしょう。主はこう言われます。『わたしが言わなければならないことはこうだ。でも、それはあなたが尋ねていることとは違う。わたしがあなたに答えることはしない。あなたに自分の質問に答えてもらおう。わたしはあなたに教訓を与えるからだ。』

—エゼキエル 20:4—

あなたは彼らをさばくのか。人の子よ、あなたはさばくのか。彼らの先祖たちの、忌み嫌うべきわざを彼らに告げ知らせよ。

—エゼキエル 20:5—

彼らに言え。『神である主はこう言われる。わたしがイスラエルを選んだとき、わたしは(手を上げ、)ヤコブの家の子孫に誓い、…

これは習慣であり、現代では違ったやり方で似ていますが、彼らは手を上げて誓います。

…エジプトの地でわたしを彼らに知らせた。彼らに(手を上げて)誓って、わたしがあなたがたの神、主であると言った。

—エゼキエル 20:6—

その日、わたしは彼らをエジプトの地から導き出して、わたしが彼らのために(聞いてください) ”探しておいた…”

「いい不動産を買いに行きました。」

…わたしが彼らのために探しておいた乳と蜜の流れる地、どの地よりも美しい地に入れることを彼らに誓った。

—エゼキエル 20:7—

わたしは彼らに言った。「それぞれ、その目の慕う忌まわしいものを投げ捨てよ。エジプトの偶像で身を汚すな。わたしがあなたがたの神、主である」と。

「わたしは”あなたがたの神主である」の「わたし」を強調していることに注目下さい。「彼ら」「あれ」「これ」ではなく。

—エゼキエル 20:8—

しかし、彼らはわたしに逆らい、わたしに聞き従おうとはしなかった。それぞれ、その目の慕う忌まわしいものを投げ捨てず、エジプトの偶像を捨てなかった。そこでわたしは、エジプトの地のただ中でわたしの憤りを彼らの上に注ぎ、彼らにわたしの怒りを出し尽くそうと思った。

—エゼキエル 20:9—

しかし、わたしはわたしの名のことを思い、彼らが住んでいる国々の目の前でわたしの名が汚されないようにした。国々の目の前で彼らをエジプトの地から導き出す、と知らせていたからだ。

もう一度これを見ることとなります。しかし、今、このことについて話しましょう。神が今ここで何と言われたか分かりますか? 「わたしがあなたがたを助けたのは、わたしの名のため、わたし自身の名誉のためである。それが、わたしがあなたを助けた唯一の理由です。あなたはわたしの怒りと憤りを十分に受け

るに値する。しかし、わたしはあなたがたを憐れみ、わたしの名のためにあなたがたを助けた。もしわたしがあなたがたを打ち砕き、滅ぼしてしまったら、それはあなたがたにとって当然のことだが、わたしの評判が危うくなるからだ。なぜなら、あなた方の中にいる異邦の国々が、あなた方を見てこう言うからだ、『うわあ！彼らの神は良くない。主は彼らをエジプトから救い出し、乳と蜜のあふれるこの地に導き入れるという約束をされた。しかし、主は彼らを滅ぼされた。だから、主は御言葉を守り、約束を果たされなかった』と。」

主は今、御名を汚され、評判を台無しにされ、約束を破られ、御言葉を取り消されたことになります。

「だからわたしはあなた方を滅ぼさなかった。あなた方を助けた。しかし、わたしはあなた方のためにしたのではない。わたしのため、わたしの名のためにした。わたしはあなた方に憐みを示した。」

—エゼキエル 20:10—

こうしてわたしは、エジプトの地から彼らを導き出し、…

興味深くないですか？ なんというか、彼らは行きたくなかったという印象を受けます。どうでしょう？ ちょっと声に出して考えているだけです。ご容赦ください。しかし、私はその10の災いすべてについて不思議に思います。あの災いがなかったら…彼らはそこでとても快適に過ごしていたのでしょうか。神は彼らをエジプトから脱出させたいと願っておられますが、彼らがエジプトから脱出したいと思うようにするために、彼らの中からエジプトを追い出さなければなりません。そこで、いくつか災いが起こります。「私はここから出たい」「彼らが自分の意志でエジプトの地から出ようとしなかったので、わたしが彼らに出たいと思わせなければならなかった。」

—エゼキエル 20:10—

こうしてわたしは、エジプトの地から彼らを導き出し、荒野に導き入れ、

「わたしは約束を守っている。わたしの評判がかかっている。これはわたしの名のためだ。」

—エゼキエル 20:11—

わたしの掟を彼らに与え、わたしの定めを告げ知らせた。人は、それらを行うなら、それらによって生きるからである。

—エゼキエル 20:12—

わたしはまた、彼らにわたしの安息日を与えて、…

その理由を良く聞いてください。

…わたしと彼らとの間のしるしとし、わたしが彼らを聖なる者とする主であることを、彼らが知るようにした。

つまり、安息日、律法、定め、裁きを、主は彼らに与えられますが、それは彼らのため、彼ら自身の益のためであり、それに加えて、主は安息日を象徴、しるしとして彼らに与えられました。「これはわたしとあなたとの間のことです。これは、あなたとわたしとの間の契約です。」それは思い起こさせるものであり、象徴であり、しるしでもあります。しるしの役割は？ あなたに指し示します。町の中のしるし/標識の目的は？ 目的地を指し示すことです。標識は正しい方向を指し示しています。それが標識というものです。そしてこれがそうです。これはしるし/標識です。それは何を指し示しているのでしょうか？ 私を聖別してくださる主を指し示しています。安息日が彼らに与えられたのはそのためであり、しるしなのです。

—エゼキエル 20:13—

しかし、イスラエルの家は荒野でわたしに逆らった。彼らはわたしの掟に従って歩まず、わたしの定めを忌み嫌った。人は、それらを行うなら、(主はもう一度言われます) それらによって生きるのに。さらに、彼らはわたしの安息日を甚だしく汚した。…

「わたしたちの間には、多くのしるし、象徴がある」

…そこでわたしは、荒野でわたしの憤りを彼らの上に注ぎ、彼らを絶ち滅ぼそうと考えた。

「しかし…！」14節。もう一度出てきます。

—エゼキエル 20:14—

しかし、わたしはわたしの名のことを思い、彼らを導き出すのを見ていた国々の目の前で、わたしの名が汚されないようにした。

「わたしがあなたがたを助けたのは、あなたがたのためではなく、わたしのため、わたしの評判、わたしの名、わたしの言葉、わたしの約束のためである。それが理由だ。あなたはわたしの怒りに十分に値する。」

13節の終わりに注目してください。「彼らを絶ち滅ぼそうと考えた」「絶ち滅ぼす/食い尽くす」の意味が分かりますか？ ところで、私たちは「消費者」と呼ばれています。消費者がすることは？ 消費する/食べることです。「わたしはあなた方を食べ尽くそうとした。しかし、わたしの名のために、わたしはあなた方を助けた。」

—エゼキエル 20:15—

だがわたしは、わたしが与えた、乳と蜜の流れる地、どの地よりも麗しい地に、彼らを導き入れない、と荒野で彼らに誓った。

—エゼキエル 20:16—

それは、彼らがわたしの定めを忌み嫌い、わたしの掟に歩まず、わたしの安息日を汚したからだ。それほど彼らの心は偶像を慕っていた。

そして、17節は…ああ、主よ、17節を感謝します。

—エゼキエル 20:17—

それでも、わたしは彼らをあわれんで滅ぼさず、荒野で彼らを滅ぼし尽くさなかった。

主よ、これは…ありがとうございます。そうですね？ 断絶しないでください。「ええ、でも、彼らは偶像を慕っていたんだ」ええ、偶像は今も健在です。ただ…、罪を守るために名前は変えてあります。偶像とは何でしょう？ あなたにとって、イエスよりも大切なもの、あるいは大切な人のことです。それが偶像です。もう一步踏み込んでみましょう。何であれ、誰であれ、あなたが注目し、愛情を注ぎ、捧げる対象は、あなたが最も多くの時間と注意を払う対象です。それが偶像になり得ます。ところで、これらの裁きや掟は、神が神の民として生きることを望んでおられる水準で、彼らが生きることができるためのものでした。彼らはその裁きを軽んじ、その掟に従いませんでした。それらの掟は定められ、それらの裁きは命のために、彼らが生きるために与えられていたのに、彼らはそれを軽んじましたそして、自分の人生において神だけに許されたその場所に座していた他の偶像を追い求めました。私たちはそうします。そこから自分を断絶させないようにしましょう。私たちも同罪なのですから。そうじゃないですか？ それでも主は、私たちを助けてくださいます。主は私たちに憐れみ深くくださいます。

—エゼキエル 20:18—

わたしは荒野で彼らの子どもたちに言った。「あなたがたの父たちの掟に従って歩むな。彼らの慣わしを

守るな。彼らの偶像で身を汚すな。

「彼らの罪を続けてはならない」

—エゼキエル 20:19—

わたしがあなたがたの神、主である。わたしの掟に従って歩み、わたしの定めを守り行え。

—エゼキエル 20:20—

また、わたしの安息日を聖なるものとせよ。これをわたしとあなたがたとの間のしるしとし、わたしがあなたがたの神、主であることを知れ」と。

「あの偶像はあなたの神、主ではない。わたしがあなたの神、主である。」

—エゼキエル 20:21—

しかし、子どもたちはわたしに逆らった。…

エゼキエル家で、エゼキエルと一緒に長老たちが居間に座って、主に尋ねている場面に戻っていいでしょうか？ もし私がおの場において、彼らの一人になったとしたら、私たちの誰もが彼らの一人になれたとしたら、私は心の中でこう思うでしょう。「こんなときに、こんな話を持ち出してしまって、本当に申し訳ない。ここで思い出さなければならないことを思い出したからです。」

—エゼキエル 20:21—

しかし、子どもたちはわたしに逆らった。彼らはわたしの掟に従って歩まず、わたしの定めを忌み嫌った。…

これで三度目です。

…人は、それらを行うなら、それらによって生きるのに。さらに、彼らはわたしの安息日を汚した。そこで、わたしは、荒野でわたしの憤りを彼らの上に注ぎ、彼らにわたしの怒りを出し尽くそうと思った。

—エゼキエル 20:22—

しかし、わたしは手を引いた。わたしの名のことを思い、彼らを導き出すのを見ていた国々の目の前で、わたしの名が汚されないようにした。

よろしければ、23 節に進む前に少し時間をください。神は彼らと神の間に、これらの賜物、定め、掟、しるし、安息日を与えておられます。それは彼らが生きるため、人生を最大限に生きるためです。一緒に考えてみてください。「The Ten Commandments/十戒」とは？ ある人が親しみを込めてこう呼んでいて、『The Tender Commandments/優しい戒め』というタイトルの本まで書きました。「これらの定め、掟、戒め、安息日、わたしがあなたがたに与えるこれらのものはすべて、あなたがたのために、これによって生きるためにある。もしあなたがそれに従って生きないのであれば、それはあなた自身に危険を及ぼすことになるから。」その戒めを一つ一つ確認することができます。しませんが、出来ます。章が長すぎるので、やりません。やってもいいですが、やめておきます。どれもすべてです。主との時間の中で、その一つ一つに目を通すことができるでしょう。その一つ一つが、愛に満ちた天の父が、こう言っておられるのです。「こんなことをしたら自分を傷つけるからやめなさい。わたしはあなたをととても愛している。あなたが傷つくのを見たくありません。あなたがわたしの前に、神でも何でもない別の神を持ち、あなたの助けにならないなら、それはわたしを傷つけることになる。わたしがあなたの神、主だからである。あなたに誰も殺してほしくない。一生悩まされることになるから。あなたに貪欲になってほしくない。わたしはあなたをととても愛している。わたしがあなたを造り、あなたをデザインした。いわば、あなたの設計図、回路図がある。あなたがどうやってティックトックして（カチカチ動いて）るか、わたしは知ってい

る。」ティックトックなんて使うんじゃない。それは良くないですね。今のは取り消しで。もっと良いものを考えます。本当にすみません。「わたしはあなたを知っている。あなたは恐ろしいほどに、素晴らしく造られた。わたしがあなたを造った方法では、貪欲、ねたみ、嫉妬はあなたを滅ぼすということ。それはあなたを汚し、あなたを食い尽くしてしまう。わたしはあなたを愛しているので、そうならないようにあなたを守ろうとしている。姦淫してはならない。」

神はこう言っておられません。「これはしてはならない！わたしが神であり、わたしがそう言ったからだ！」「これらはわたしの定めであり、わたしの掟だ！あなたはそれらを順守し、守るべきだ！」違います。「わたしはあなたを愛している。あなたが不必要に苦しむ姿は見たくない。姦淫をすれば、あなたの人生は一生壊れてしまうから。それは生き方ではない。」

十戒のすべてが...、ほとんど十個全部をやってしまいそうになりましたが、やらないと言ったのでやめます。大丈夫ですか？

—エゼキエル 20:23—

だがわたしは、彼らを諸国の間に散らし、国々に追い散らす、と荒野で彼らに誓った。

—エゼキエル 20:24—

彼らがわたしの定めを行わず、わたしの掟を忌み嫌い、わたしの安息日を汚し、彼らの心が父たちの偶像を慕ったからである。

基本的には、これが主のなさることです。これはバビロン捕囚で部分的に成就しました。「わたしはあなた方を追い散らす。あなた方を懲らしめる。わたしはあなた方に教訓を与えなければならない。あなたたちを国々に分散させる。わたしはバビロン人があなた方を捕囚にするのを許す。あなた方を異邦の国々に散らす。わたしはこの偶像崇拜をやめさせる。」ところで、それは上手くいきました。もちろん、イスラエルはその歴史を通じて、他の方法で神に対して罪を犯しました。しかし、偶像崇拜に関しては、この後のイスラエルにとって、それは罪のリストの上位には入りませんでした。言い換えると、「わたしはこれをしなければならない。あなた方のしたことのゆえに、あなた方を散らすために、わたしは誓いの手を挙げなければならなかった。偶像崇拜があなた方を滅ぼしているのです、わたしはあなたを教え、偶像崇拜を治さなければならない。それはわたしを悲しませている。」

—エゼキエル 20:25—

わたしもまた、良くない掟と、それによっては生きられない定めを彼らに与えた。

ここで止めます。これはローマ人への手紙 1 章です。ローマ人への手紙を学んでいた時、難しい章は沢山ありましたが、私が教えなければならなかった最も難しい章の一つが、ローマ人への手紙 1 章でした。実際、ある週は教えの間、ずっと涙を流していたことを覚えています。実際、ちょっと恥ずかしかったです。

「神は彼らを引き渡される」（ローマ 1:24 参照）

「聞きなさい、あなたの心はすでに硬くなっている。あなたの心はすでに決まっている。あなたの運命はすでに決まっている。神の霊は永遠に人間と争うことはない。あなたはすでに決断を下している。わたしはあなたに、自分自身を強いることはしない。ただ、こう言おう。『分かりました。わたしはあなたをこの偶像崇拜に引き渡す。あなたはそれで満足するでしょう』」それはある意味、荒野をさまよった出エジプトにおいて、混血の大群衆がイスラエルの民の間に争いを引き起こし、マナに不平と不満を抱かせたときのようなものです。そこで民は肉を食べたいと要求しました。神はただこう言われました。「分か

りました、どうぞ。」民にウズラを存分に与えられました。

主は彼らをそれに引き渡し、彼らはたくさん食べ、それがまだ歯に残っているうちに、この肉を食べて死にました。(民数記 11:33)

彼らはイエスの型であるマナを拒絶したからです。マナはイエス・キリストの描写です。私たちが出エジプト記を読んでいたとき、とても魅力的な学びでした。「わたしこれを与えたのに、あなたがたはそれを軽んじた。では、分かりました。あなたがたが求めるものにあなたがたを引き渡す。それは良くないものだ。」

—エゼキエル 20:15—

わたしもまた、良くない掟と、それによっては生きられない定めを彼らに与えた。

「わたしの掟は良いものだ。」

—エゼキエル 20:26—

彼らがすべての初子に火の中を通らせたとき(モレク)、わたしはそのささげ物で彼らを汚した。それは、わたしが彼らを滅ぼすため、わたしが主であることを彼らを知るためである。』

—エゼキエル 20:27—

それゆえ、人の子よ、イスラエルの家にこう告げよ。『神である主はこう言われる。あなたがたの先祖は次のことにおいても、わたしの信頼を裏切ることにより、わたしを冒瀆している。

—エゼキエル 20:28—

わたしが、彼らに与えると誓った地に彼らを連れて行くと、彼らは高い丘や茂った木を見て、どこでもいけにえを献げた。彼らはそこで主の怒りを引き起こすささげ物を献げ、そこで芳ばしい香りを供え、そこで注ぎのぶどう酒を注いだ。

—エゼキエル 20:29—

それで、わたしは彼らに言った。「あなたがたが通う高き所とは何なのか」と。今日でもその名はバマと呼ばれている。』

「バマ」とは、「高き所」という意味です。ここで何が起きているのでしょうか？ここで神が彼らに土地を与えられたので、彼らはその土地、つまり神が彼らに与えられた土地を所有することになりました。彼らはこんな感じです。「よし、良い感じだ！ところで、あの高い場所に気づいた？」彼らがこのような高き所で何をしていますか？言葉にできないことです。口に出せないこと。大げさではなく、文字通りに。言葉にならないことです。私は説教壇の後ろから顔を赤らめ、それを説明したり、綺麗事にしても不適切だと考えます。このような高き所で行われている不道徳は言葉になりません。想像できますか？あなたが誰かに家を与えたとして、その人がその家を所有し、あなたが与えたその家で言いようのない悪事を働き始めたとしたら？あなたはどう感じますか？どれほどでしょうか？彼らはこの土地を与えられ、神は御言葉を守られ、彼らをこの土地に連れて来られました。彼らはこの土地を手に入れ、そしてこの土地で言いようのない悪事を働いています。まるで彼らと与えられた土地について、言いようのない悪しき方法で、偽りの神々に感謝しているようです。ああ、もし私が神なら...霊的な目で私を見ないでください。もしあなたが神だったら...一瞬で...いや...30節。

—エゼキエル 20:30—

それゆえ、イスラエルの家に言え。『神である主はこう言われる。(質問)あなたがたは父たちの生き方をまねて自分自身を汚し、彼らの忌まわしいものを慕って姦淫を犯そうとするのか。』

これは修辭的だ。「それはまさに、あなた方がやっていることだ。」これを見逃さないで下さい。「あなたがたは、自分自身を汚している。」性的な罪は、自分自身、自分の体に対して罪を犯すことです。「あなたは自分自身を汚している。あなたは淫行を犯している。これをする時にあなた自身に及ぶことのゆえに、わたしはそんなことはしてほしくない。」

—エゼキエル 20:31—

しかも、ささげ物を供え、幼子に火の中を通らせて（子どもの犠牲です）、今日まであらゆる偶像で身を汚してきた。イスラエルの家よ。わたしはどうして、あなたがたの求めに応じられるだろうか。わたしは生きている ——神である主のことば——。わたしは決してあなたがたの求めに応じない。

—エゼキエル 20:32—

あなたがたが、「私たちは、木や石を拝んでいる異邦の民、国々の諸族のようになろう」と言っている、その霊の思いは決して実現しない。

聞いてください、もしあなたの神が木や石の神なら、とても気の毒に思います。自分の神の世話をしなければならぬからです。私が仕える神は、私の世話をしてくださいます。自分の神を世話しなければならぬとき、問題が発生します。ユーモアを交えてすみませんが、ペリシテ人が契約の箱を奪って、神殿に置いたことを覚えていますか？ どれだけ彼ら、私の民は愚かなのでしょうか？ もちろん、ペリシテ人はもういませんが。彼らは契約の箱を捕らえ、それを彼らの神、ダゴンの神殿に置きました。そして、契約の箱をそこに残しました。

翌朝、彼らが神殿に戻ると、彼らの神は契約の箱の前にうつ伏せに倒れており、すべてぶちまけられました。（Iサムエル 5:3）

なんてこった！ — 笑 — またユーモアを交えて申し訳ないですが、では彼らはどうするのでしょうか？ 彼らは気づくと思うでしょう。「もしもし？ あれが私たちの神で、これは...」契約の箱の前にうつぶせに倒れています。それが何かを物語っているはずですが。それでもわからないのであれば、あなたは自分の神を拾い上げて、接着剤でくっつけなければならないという事実があります。とにかく、この記述は...私は本当に皆さんに勧めたいです、もっとひどくなると、「ここからそれ（契約の箱）を出せ！」と争いになります。とにかく...繰り返しますが、長い章なんです。前に進み続けないと。だから、やめておきます。

—エゼキエル 20:33—

わたしは生きている ——神である主のことば——。わたしは必ず、力強い手と伸ばした腕、ほとぼしる憤りをもって、あなたがたを治める。

—エゼキエル 20:34—

わたしは、力強い手と伸ばした腕、ほとぼしる憤りをもって、あなたがたを諸国の民の中から導き出し、その散らされている国々からあなたがたを集める。

訳すと、「わたしはあなた方を助けるが、わたしの方法で行う。わたしはすべてを支配し、すべてを圧倒するので、わたしが最終的な決定を下す。わたしはあなた方を連れ戻す。あなた方を回復させる。わたしはあなた方を散らす、あなた方がしたすべてのことの後、わたしの力強い手、伸ばした腕で、あなた方を連れ戻す。

—エゼキエル 20:35—

わたしはあなたがたを国々の民の荒野に連れて行き、そこで（これは興味深いです）顔と顔を合わせて、

あなたがたをさばく。

「それは大丈夫です。いや、もう大丈夫だから。もう大丈夫、もう大丈夫です。コーヒーをありがとう、エゼキエル。時間を見てくれる?」「いや、いや、これに決着をつける」

—エゼキエル 20:36—

わたしは、あなたがたの先祖をエジプトの地の荒野でさばいたように、あなたがたをさばく ——神である主のことば——。

どういう意味でしょう? どうやってするのでしょうか? 37節です。

—エゼキエル 20:37—

わたしはまた、あなたがたにむち（杖）の下を通らせ、…

ここで止めます。彼らはこれを理解したでしょう。羊飼いたちがすることだからです。羊飼いの杖です。群れを杖の下に連れて行き、杖で羊の群れを割り振り、検査し、数え、どの羊を残すかを決めるのです。杖を使って分けていました。杖の下で、「これは…ダメ。これはよし。ダメ。よし。」

…あなたがたを契約のくびきの下に連れて行き、

—エゼキエル 20:38—

あなたがたの中から、わたしに背く反逆者をより分ける。わたしは彼らをその寄留している地から導き出すが、彼らはイスラエルの地に入ることはできない。そのときあなたがたは、わたしが主であることを知る。

わお…! では、整理させてください。神が最終的な決定を下されます。主はすべてを支配し、すべてを圧倒されます。主は顔と顔、目と目、腹と腹を合わせて、これにはっきりと決着をつけなければなりません。私は「腹と腹」の方が好きです。目よりも、腹の方が。

「これがわたしが行うことです。あなた方に杖の下を通らせ、誰がこの地に入り、誰が入らないかを定める。わたしが支配する。」

注目ください。これを見逃さないでください。「わたしはその決定を下す。わたしが判断する。それがわたしが裁く判決だ。」

—エゼキエル 20:39—

さあ、イスラエルの家よ、神である主はこう言われる。それぞれ自分の偶像のところに行って仕えるがよい。後には必ず、あなたがたはわたしに聞くようになる。あなたがたは二度と、自分たちのささげ物や偶像で、わたしの聖なる名を汚さなくなる。

—エゼキエル 20:40—

わたしの聖なる山、イスラエルの高い山の上で ——神である主のことば—— そこで、この地にいるイスラエルの全家、そのすべてがわたしに仕えるからだ。そこで、わたしは彼らを喜んで受け入れ、そこで、あなたがたのすべての聖なるものとともに、あなたがたの奉納物と最上のささげ物を求める。

一件落着。

—エゼキエル 20:41—

わたしが諸国の民の中からあなたがたを導き出し、その散らされている国々からあなたがたを集めるとき、わたしは、あなたがたを芳ばしい香りとともに喜んで受け入れる。こうしてわたしは、国々の民（異邦人）が見ている前で、あなたがたのうちに、わたしが聖であることを示す。

異邦人たちは、この一部始終を見ながら、「やれやれ、こいつらは自分たちの神と大きなトラブルがある

ようだ。彼らの神は彼らに約束をし、土地を約束し、この契約を結び、彼らの間には象徴さえあり、これらの定めと掟があったが、彼らはあんなことをしてしまった。彼らの神はどうするのだろうか？」

神は彼らを助けられます。この「聖なる」という言葉は、私たちの語彙にはありません。悲しいことに、非常に誤解されている言葉のひとつです。公平に見て、この言葉を本当に完全に翻訳するのは難しいですが、それは神に対する畏敬の念であり、尊敬であり、聖なる恐れです。異邦人の前で、この神を畏敬の念を持って称えるのです。異邦人はこれを見て、言います。「この神のような方が誰かいるだろうか？」理解しなければならないのは、これらの偽りの神々はすべて、生け贄を捧げ、人間を神々に捧げなければならなかったということ、怒りの神々だったということです。

「これは新しい。この神は、憐みの神なのですか？ 主のような方が誰かいるのでしょうか？」

—エゼキエル 20:42—

わたしが、あなたがたの父祖たちに与えると誓った地、イスラエルの地にあなたがたを導き入れるとき、あなたがたは、わたしが主であることを知る。

言い換えれば、「わたしはわたしにしかできないことをする。それをしたのが間違いなくわたしであることが分かるように。」「あなたはやっていない。わたしがこれをする。」なぜ、あなたはこれをなさるのですか？「そうすれば、あなた方はわたしがこれを行ったと知る。」わたしが”あなた方の神、主であると。誓いの手を挙げたのはわたしだと。わたしはこれを行い、あなた方の父祖たちに交わしたこの誓いを守っている。」

—エゼキエル 20:43—

あなたがたはそこで、自分の身を汚した自分たちの生き方と、すべての行いを思い起こし、自分たちの行ったすべての悪のゆえに、自分自身を嫌うようになる。

よろしければ、これについて少し取り組みましょう。そこには健全な嫌悪、聖なる恥、罪の非難ではなく、罪の示しがあります。言い換えると、「わたしがこれをするのは、あなた方がしたことすべてを思い出させるためだ。自分がどのように自分を汚したかを思い出させ、自分自身を嫌うようにさせる。それは良いことです。自分が何をしたかを理解し、わたしがあなたを見るように、あなたが犯したすべての悪をあなた自身が見ることになるのだから。どうやらある時点から、あなた方はそのように見ていなかったようだから。しかし、今はそうしている。自分への嫌悪感のゆえに。」

これは自分の内に向くことではありません。それは自滅的なことです。それは、神がここで言われていることではありません。神がここで言うておられるのは、主があなたの心を探られ、主を愛すること、主に聞くこと、主を知ること、主に仕えることからあなたを遠ざけているものがないかどうか、主を悲しませるものがないかどうかを確かめるために、健全に自分の内を見つめるということです。そして、神の御心を傷つけてしまったことに気づいた時、あなたは傷つきます。

「主を恐れることは、悪を憎むこと」(箴言 8:13)

その意味をご存じですか？ 神をそのように恐れるということは、神の御心を傷つけるような悪いことをするのを恐れるということです。それが、主を恐れることです。では、この例えを使いましょう。結婚の例えです。私は妻をととても愛しています。妻を傷つけるようなことは何もしたくありません。そういう意味で、彼女を傷つけることをすることを恐れています。主への恐れです。そのように主を愛するとき、あなたは誰かを愛するあまり、その人を傷つけるようなことをすることを恐れます。自分が愛している人を傷つけていることに気づいたとき...、また結婚生活の中で、子育ての中でも、私は何度も子どもたち

のところに行き、私が子どもたちにかけて思いやりのない言葉や、怒りにまかせて叱ったことを許してくれるよう頼んできました。私は自分の子どもたちを、これまで自分が愛せると思っていた以上に愛しています。どういう意味か分かりますね、親御さん？ あなたは子どもたちをととても深く愛しています。相手を本当に傷つけてしまったと気づいたとき、ああ、ただ、嫌悪感が...自分が嫌になり、相手を傷つけた自分に腹が立ちます。それが神が 43 節で言っておられることです。それは良いことです。良いことです。

—エゼキエル 20:44—

...あなたがたはわたしが主であることを知る...

ちょっと余談です。むち打ちにさせて申し訳ないです。分かりませんが、数えていませんが、ワードで検索したり、ソフトウェアで検索することもできます。「わたしが主である」 もう 9 回か 10 回になりますか？ 9 回か 10 回か？ それくらいが妥当ですか？ 主が私たちの神、主であることを私たちが知ることを願っておられるという印象を受けますか？

—エゼキエル 20:44—

わたしが、あなたがたの悪しき生き方や、腐敗した行いによってでなく、ただわたしの名のためにあなたがたに報いるとき、イスラエルの家よ、あなたがたはわたしが主であることを知る ——神である主のことば。』

それが神がご自分の民を扱われる方法です。主はそれを扱われません。嬉しくないですか？ 想像できますか？ もし 44 節に、「わたしは主であり、”あなたがたの邪悪な道に従って”あなたがたに手を下した」と書かれていたらと想像できますか？ ああ、もうおしまいです。「あなた方の墮落した行いに従って」とも書かれていません。神が私たちの悪しき道や墮落した行いに従って私たちを扱われないことを、嬉しく思いませんか？ 主が私たちを助け、憐れんでくださり、私たちの悪しき道や墮落した行いに従って私たちを扱われないことを、嬉しく思いませんか？ もしそうなら、今晚ここに誰がいるでしょうか？ さて、45 節からこの章の終わりまでは、実際には 21 章の始まりであるべきだったと考えられています。というのも、ここで急カーブを曲がるからです。

—エゼキエル 20:45—

さらに、私に次のような主のことばがあった。

—エゼキエル 20:46—

「人の子よ。顔を右の方に向け、南に向かって語りかけ、ネゲブの野の森に向かって預言し、

—エゼキエル 20:47—

ネゲブの森に言え。『主のことばを聞け。神である主はこう言われる。見よ、(これはすみません) わたしはおまえのうちに火をつける。その火はおまえのうちの、すべての生木とすべての枯れ木を焼き尽くす。その燃える炎は消されず、南から北まで地の面すべてが焼かれる。

—エゼキエル 20:48—

そのとき、すべての肉なる者は、主であるわたしが燃やしたのを見る。その火は消えることがない。』

—エゼキエル 20:49—

そのとき、私は叫んだ。「ああ、神、主よ。彼らは私について、『彼は、たとえを言っているだけではないか』と言っています。」

さて、主が望まれるなら、来週の 21 章では、このことがもっと意味を成し、しっくりくるようになるで

しょう。エゼキエルがこう言っているようだからです。「主よ、彼らは私の言うことをすべて退けます。彼らは私のことを『彼は何の意味もなさない』と言うからです。『彼はなぞかけを話している。たとえば話している。我々は彼が何を言っているのか理解できない。』と。」

だから、21章では...? 「いいでしょう。」フレーズがあります。「現実的な話」「率直な話」ああ、彼らは『あなたはたとえば話す』と言ったことを後悔するでしょう。「ああ、あなた方は、わたしにただ率直に...分かりました。」だから、来週は必ず来てくださいね。21章では、たとえ話もなぞかけもなく、ただ直球勝負だからです。「何を言っているの?」ということはありません。いいえ、違います。「あなたは理解できないと思うのか? わたしは理解する手助けをしよう。」「ちょっと混乱しているんだ。」「わたしはあなたの混乱を解く。」 — (笑) —

「ああ、あなたはこういったパズルやなぞかけのようなことを話している。」「ええ、では、パズルを解いてあげよう。なぞを解いてあげよう。理解できないという言い訳はできなくなる。あなたが聞くべきことを正確に言おう。」それが来週です。だから、イエーイ! — (笑) —

これで聖書の学びとこの章は終わりです。カポノ上がって来て下さい。皆さんお立ちください。やり遂げました! 神の恵みによって。主が私たちを助けてくださいました。

父よ、本当に感謝します。神よ、あなたの御名があがめられますように。おお、神さま、あなたのような神がいるでしょうか。あなたのようなお方は他にいません。神さま、あなたは聖く、あなたの裁きは正しいです。それは正義であり、真実です。主よ感謝します。非常に厳しい章でしたが、良いものでした。私たちがこれを聞く必要があり、このことを思い出す必要があったからです。私たちがこれを示される必要がありました。最終的には、私たちがどれだけ不従順であるとか、どれだけ罪深く、どれだけ悪いかということとは関係ないからです。あなたがいつもどれだけ良いお方であるかということです。私たちがどんなに悪い者であっても、神よ、あなたは良いお方です。そのことに感謝します。私たちを見守ってください。あなたの目、私たちへの憐れみ、私たちへの恵みに感謝します。主よ、私たちがあなたにとっても感謝しています。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7